

審議会会議録

| | | | |
|---|--|--------------------|----|
| 会議名称 | 令和2年度第3回大滝区地域協議会 | | |
| 議題 | 議案第1号 令和元年度大滝区振興基金対象事業実績について 議案第2号 令和3年度大滝区振興基金対象事業計画について | | |
| 開催日時 | 令和3年3月18日（木） 午後3時00分～午後4時00分 | | |
| 場所 | 伊達市大滝総合支所 1階 防災多目的ホール | | |
| 出席者 | 出席者10名 | | |
| | 所管部課名 | 大滝総合支所 地域振興課 地域住民係 | |
| 公開 非公開 の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | 傍聴者の人数 | 1名 |
| | <input type="checkbox"/> 非公開 | 非公開の理由 | |
| 【会議の概要】 | | | |
| 1. 開会 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。 | | | |
| 2. 市長あいさつ 大滝総合支所の改修については、災害の多い大滝区に合わせて、避難施設として使用できるよう設計した。 今後の大滝区の実展については、観光分野にあると考えている。次年度は、光ファイバー網の整備が始まるが、これを軸に観光振興が図れればと思っている。 これからは、時代の流れに合わせて、空き家対策や公共交通機関の見直しなどに取り組んでいきたい。 | | | |
| 3. 会長あいさつ 今回の議題は、大滝区振興基金予算に関することが挙がっていたので、書面会議ではなく、直接、話し合いたいと思い、会を開くこととした。本日はよろしくお願いたします。 | | | |
| 4. 署名人の選任 審議に先立ち、会議録署名人に松浦委員、川田委員を指名 | | | |
| 5. 議題 議案第1号 令和元年度大滝区振興基金対象事業実績について 事務局より説明（別紙のとおり） | | | |
| ○質疑応答 会 長：質問、意見等はありませんか。 | | | |

委員：高齢者入浴サービスについて、無料の共同浴場を使用していながらも、使用料が割高に感じるが昼食等は付いているのか？

事務局：付いていない。委託業者への送迎、入浴支援にあたる人件費である。

委員：児童生徒医療費、妊産婦健診通院交通費補助金について、先日、未就学のお子さんがいるお母さんとお話しする機会があったのだが、この制度について認知されていなかった。もっと周知しても良いのでないか。

事務局：了解した。

市長：該当する方へ直接周知する方が良いと考える。また、妊産婦健診通院交通費補助金について、バス料金の補助となっているが、少し安いように感じるため、見直しを図ってみたいと思う。

議案第2号 令和3年度大滝区振興基金対象事業計画について
事務局より説明（別紙のとおり）

○質疑応答

会長：質問、意見等はありませんか。

委員：伊達市大滝区修学旅行支援補助金について、大滝の学校が単体で行くとなれば、高額となるのは当然だが、伊達地区の学校と合同で行くとなれば団体割引が適用されるのではないか。

市長：私もはじめは同意見で、教育委員会へ提案した。しかし、人数の差が圧倒的に違うため、子供たちがそれを望まないとのこと。

事務局：これから9年生になる生徒も段々と減少していく見込みであり、1人とかになってしまえば、それこそ可哀想である。

委員：高校に進学することも同じことではないか。交友関係が広がり良いことであると思う。

市長：委員のご意見は、とてもよく理解できる。今一度、教育委員会に検討してもらおうよう話しをしておく。

委員：高齢者サービスについて、対象が概ね65歳以上の方となっているが、福祉バスや敬老会は70歳以上となっている。この線引きについて、一つ疑問があったため説明願いたい。

市長：大滝村だった頃の名残である。この制度についても、国鉄胆振線代替バスの見直しに絡めて、出来るだけ料金のかからない方法を検討していきたい。

会長：学校の関係だが、休日の部活動について、学校から遠い地区に住んでいる生徒の移動手段が無くて困っていると伺った。年に数回しかないとのことなので、基金を充当したりなど、何らかの補助を検討してもらえたらと思っている。

市長：委員の皆さまの協議の結果で、可決されれば、基金の充当は可能である。

事務局：このことについては、市教育委員会、学校、大滝総合支所の構成で協議させてもらったが、伊達地区の生徒も同じ条件下で部活動をしている実態がある。例えば、北電伊達発電所のテニスコートで練習するとなれば、自転車で行くなり、保護者が送迎したりなど様々である。そのため、大滝区の生徒がサッカーや野球がしたくて、学校より遠いところに行くために補助するというのも難しいと考えて、この件についても判断は厳しいものとなった。

会長：伺っているのは、自宅から学校の区間であって、それ以上の距離については伺っていない。

事務局：年に数回というお話であったが、実際のところは毎週の土曜日、日曜日のどちらかで、月4回くらいになると伺っている。そうなると、また厳し

いもので、補助するにしても家庭の事情など審査する必要があるかと考えていた。

市長：もし、やるとすれば、自宅から学校の間のみなど要件を定めて、例外ないようにする必要がある。

委員：自宅から学校までの燃料代に相当する額を援助するというのはどうか。

市長：実際は路線バスで通っているため、往復 2,000 円程度かかる見込みだ。

市長：原則論で、部活が月何回あって、移動経費をいくらまで支給しますなどと定めていくしかない。

会長：当案件は学校に関わることなので、今後、教育委員会に判断していただき当協議会の議題に挙がってきた場合には、委員の皆さんの慎重なご判断をお願いしたい。

委員：ケーブルテレビのインターネット回線が不安定なことについて、私の自宅が全然繋がらなくて仕事にならないことがある。また、他の区民の方からも繋がらないなどの話しをよく耳にする。早急に改善してもらえればいいのだが、その兆しもないので、光ファイバー網が整備されるまでのこの 1 年、一般の回線に乗り換えた場合やケーブルテレビ回線で困っている人に対して基金から充当して補助できないか。

会長：私自身、一般の回線を使用しているが、利用料金は光ファイバーが通った際と同等くらいのものとなっている。そこに補助してほしいというのは筋が合わないのではないか。

委員：ケーブルテレビ使用料を納付している上で、インターネットを十分に利用できないので、どうにかならないものか伺いたただけである。

会長：ケーブルテレビ使用料は月 3,500 円で、内訳はテレビで 1,000 円、インターネットで 2,500 円だと思うが、満足に使用できないから補助してほしいではなくて、ケーブルテレビはテレビ視聴のみに切り替えて、インターネットは一般の回線に切り替えてはどうか。

委員：私が住んでいる地区は一般の回線も届いていないので、ケーブルテレビを頼りにするしかない。ケーブルテレビでインターネットが利用できると聞いて加入したのに、全然利用できないので困っている。

委員：他に選択肢がないなら困るのは当然だ。

事務局：原因は様々だが、1 つとしてケーブルテレビの老朽化というのも否めないところで、昨日もインターネット回線の保守を委託している業者が来庁して、当該案件について話しをしたところだが、光ファイバー網整備があと 1 年のところに高額な設備更新というわけにもいかないのが現状である。

委員：目前なのは理解しているが、1 年間満足に利用できないのは厳し過ぎるのではないか。

事務局：インターネット回線が不調だという方については、個別に改善できるよう早急に対応を検討したい。

市長：光ファイバー網の整備については、もっと早く整備してもらいたかったが、専門業者が道内にいないなどの諸々の事情があり、現在のスケジュールに至った経緯があるため、ご理解願いたい。

6. その他

委員：新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、大滝区はどのような取扱いになるのか。

市長：現在、様々な形態を検討しているところだが、恐らく、大滝基幹集落センターを会場として行うことになるだろう。

委員：冒頭に市長からお話があった、空き家対策ならびに定住促進住宅の話題にかかわって、ここ数年で大滝区に移住を考えている方と接する機会が何度かあって、その度に一戸建ての物件がないか聞かれたことがある。田舎暮らしをしたい方は一戸建てに魅力を感じているため、何か空き家情報などを共有できる仕組み作りもお願いしたい。

市長：空き家は、探せば意外とあるもので、情報共有が大事だと考える。このことについては議会でも話題に挙がっており、オンラインの掲示板形式で何か取組めたらと考えていた。

会長：旧教員住宅などがあったと思うが。

市長：伊達市と大滝村が合併して10年以上が経ったが、市職員で大滝出身の職員も少なくなった。現在も伊達から通っている職員が多いため、大滝については職員住宅があっても良いと考えており、整備の検討をしている。市役所もそうであるが、消防組合でもこの問題を抱えており、勤務の関係上、駆けつけるための待機職員が必要であったりと、近場に職員がいないと困ることがあるため、これについても検討したいと考えている。

会長：この他に質問、意見などがなければ、本日の協議会を閉会とする。終始熱心なご審議をいただき、ありがとうございました。

○閉 会